

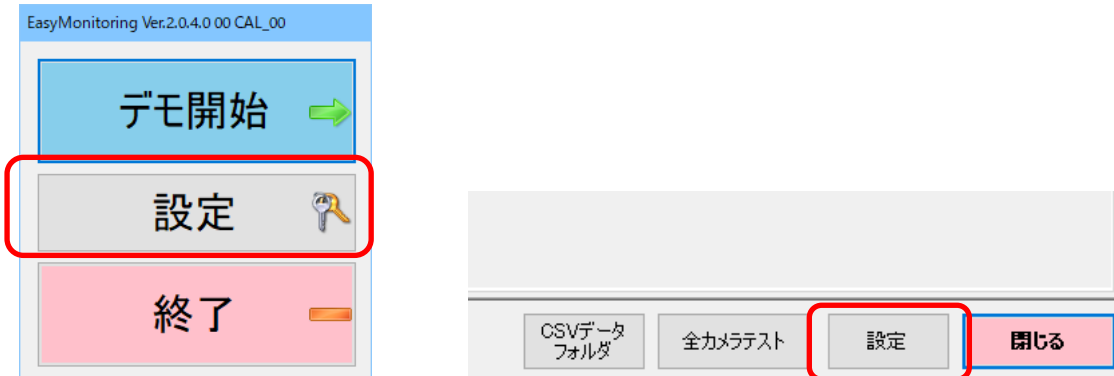
EasyMonitoring のソケット通信サンプルについて

EasyMonitoring のソケット通信サンプルは送受信文字のエンコーディングとして UTF-8 を指定しています。そのため EasyMonitoring のソケット通信設定も UTF-8 を指定する必要があります。

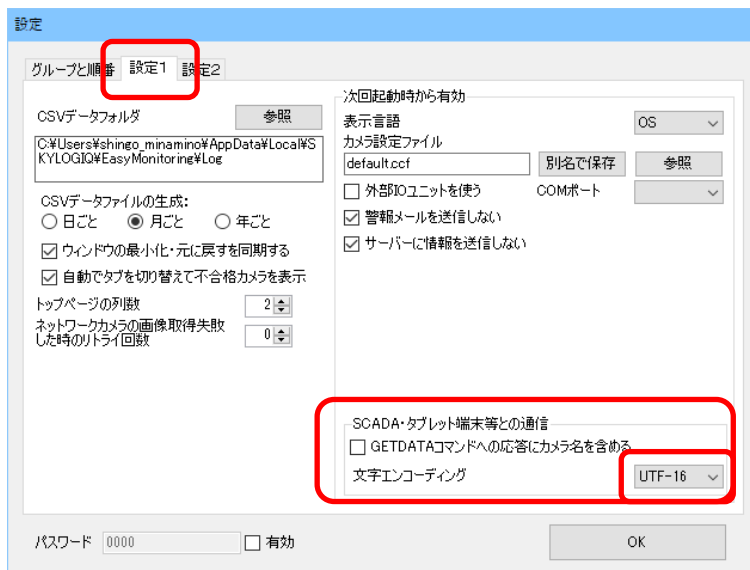
EasyMonitoring のソケット通信設定

EasyMonitoring のソケット通信設定を UTF-8 に指定する方法は以下の通りです。

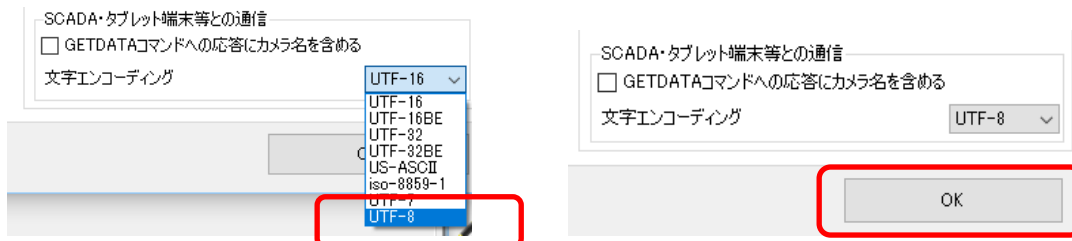
「設定」をクリックしてカメラ管理ソフトの「設定」をクリックします。



「設定 1」タブをクリックします。エンコーディングは UTF-16 が初期値です。



エンコーディングを「UTF-8」に指定して OK をクリックします。



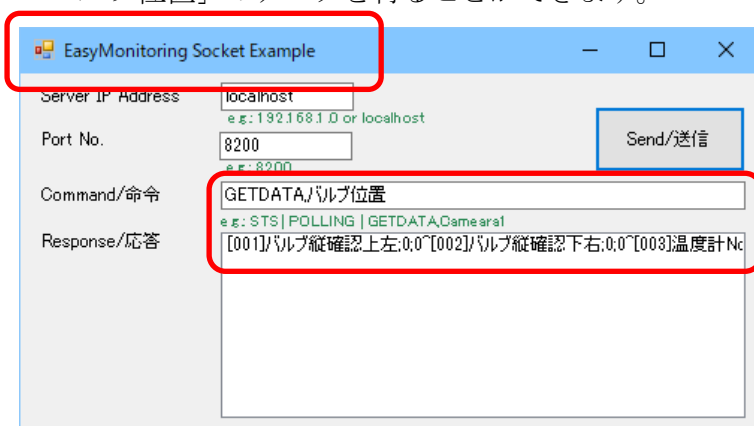
この設定を行った後、必ず EasyMonitoring を終了し、再起動して下さい。上記通信設定はソフト再起動後に有効となります。

正常時の動作

カメラの画像処理結果を得るには EasyMonitoring が運転中の状態である必要があります。運転を開始するには「デモ開始」をクリックします。



運転中に「GETDATA,バルブ位置」というコマンドを送信することにより、カメラ名「バルブ位置」のデータを得ることができます。



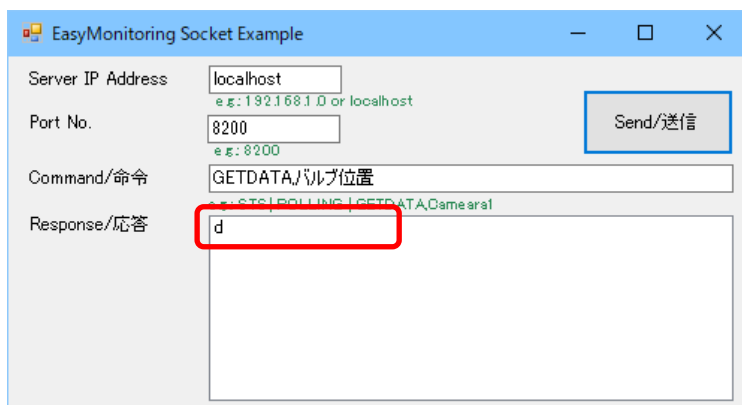
通信が正常に出来ない場合

以下の場合、通信が正常に出来ず、文字化けしたり正しい戻り値が得られない場合があります。

文字エンコーディング

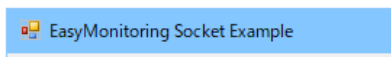
ソケット通信サンプルと EasyMonitoring の文字コードが一致しない場合

ソケット通信サンプルではエンコーディングに UTF-8 を使っています。例えば EasyMonitoring で初期値である UTF-16 が選択されている場合、次のような戻り値になります。



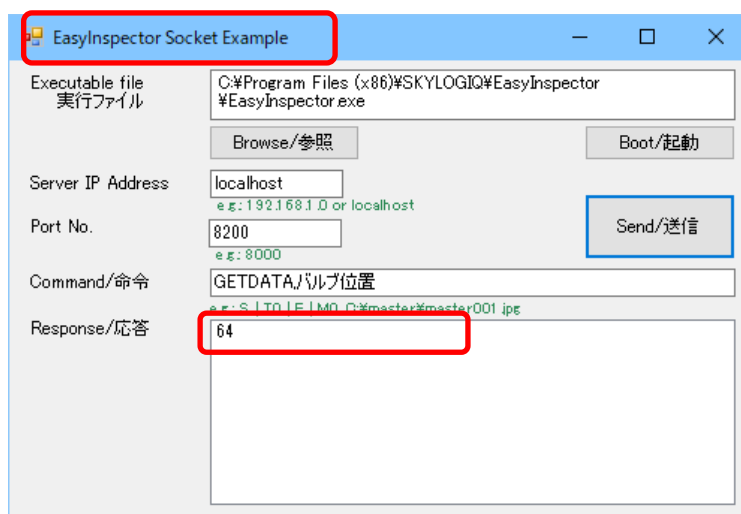
EasyMonitoring 用のソケット通信サンプル以外のソフトを使った場合

EasyMonitoring のソケット通信サンプルではタイトルに「EasyMonitoring Socket Example」と表示されます。



EasyMonitoring 用でないサンプル（「EasyInspector Socket Example」など）を使用した場合、正しい戻り値が得られません。EasyMonitoring のソケット通信サンプルはエンコーディングに UTF-8 を使っていますが、その他のサンプルは Windows のデフォルトエンコーディング（Shift-JIS など）が指定されておりエンコーディングが一致しないためです。

EasyInspector 用のソケット通信サンプルを使用した例（EM 側は UTF-8）



運転中でない時（設定モードなど）

「GETDATA」コマンドで戻り値が「**」になる場合は運転中でないためカメラ画像を取得できない状態です。GETDATA でカメラからの値を得るには EasyMonitoring を運転状態にして下さい。

